

科目群	科目区分等	科目名	担当教員名	対象学年次	学期
共通基礎科目	2単位 教養科目	新島襄ーその時代と生涯ー	山下智子	1年次	秋

授業のキーワード	良心・自立自治・智徳並行教育
授業の概要・目的	新島襄は明治期の日本が生んだ偉大な教育者・宗教家です。新島学園は新島襄の志を受けた人々によって新島襄の郷里安中に創立されました。新島襄が、どのような時代に生き、どのような生き方をし、どのような思想や信仰を持っていたのかを学ぶことを通して、現代に生きる皆さんが生きるヒントを得ていただきたいと思います。
履修のアドバイス・ 前提科目等	「新島襄のゆかりの地を学ぶ旅」は一般の学生にもオープンにしますので、この「旅」を有意義なものにするために主体的にパンフレットづくりなどに参加してほしいと思います。

授業展開

	テーマ	内 容		テーマ	内 容
第1講	現代において新島襄を学ぶ意味	新島襄のキリスト教教育への志と新島学園の創立について学びます	第9講	留学先での新島襄を支えた人たち	新島襄の英文の手紙を読んでみよう アメリカの「母」たち・シーラー教授・プリント牧師
第2講	新島襄の誕生から脱国まで	「七五三太」の由来・少年時代の習い事・快風丸での経験 自由を求めて函館へ・ニコライ神父・「千里の志」を抱いて脱国	第10講	日本への帰国	日本への帰国
第3講	アメリカへの航海とボストン上陸	新島襄はどうやってアメリカに渡ったのだらう セイヴォリー船長・テイラー船長・ハーディー夫妻	第11講	京都で同志社を開校	同志社を設立するのにどんな苦労があったのだらう 同志社設立の精神はどんなものだったのだらう 京都のキリスト教事始め・「三十番教室」・大学設立運動・女子教育への熱意
第4講	アメリカでの留学生活	新島襄はアメリカでどんな教育を受けたのだらう フィリップス・アカデミー・アーモスト大学・アンドヴァー神学校	第12講	教育者として	新島襄の教育方針はどんなものだったのだらう 「熊本バンド」にてこずる・「自責の杖」事件
第5講	新島襄と群馬 ① パンフレット作り	新島襄にゆかりのある群馬の地について調べ、見学のパンフレットを作ります	第13講	晩年の新島襄	新島襄はどのようにして亡くなりどんな遺言を残したのだらう 教会合同運動への反対・大磯で永眠・遺言を託す・京都での葬儀と埋葬
第6講	新島襄と群馬 ② 新島襄ゆかりの地を学ぶ旅	新島襄にゆかりのある群馬の地を実際に見学します	第14講	まとめ	新島襄の生涯から現代に生きる私たちが学ぶことは何だらう
第7講	新島襄を支えた群馬のキリスト者たち	どんな人たちが新島襄を援助したのだらう 湯浅治郎とはつ・柏木義円	第15講	期末試験	

第 8 講	キリスト教と の出会い	新島襄はどのようにしてキリスト 教徒になったのだろうか 聖書を読む・洗礼を受ける・準宣 教師として任命される	評 価 方 法	期末レポート (40%) 「新島襄のゆかりの地を学ぶ旅」 への参加度・貢献度 (30%) 授業中の態度・積極性 (15%) クラス出席状況 (15%)
備 考 (関連する資格・試験等)				
使用する教科書 (必ず購入してください)			参 考 文 献	
「教科書 新島襄」 教科書「新島襄」編集委員会 新教 出版社 2000年 「新島襄の手紙」 新島襄編集委員会編 岩波文庫 2005 年			「現代語で読む新島襄」 学校法人同志社編 丸善 2000 年 この他授業中に適宜紹介します	